

平成26年度（平成27年度実施）個別施策評価シート

文教厚生委員会

評価する個別施策	地域社会への参加の促進
----------	-------------

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76~100		55	11の対象事業を実施しており、評価できる点もあるが、引きこもりがちな高齢者や、参加意欲はあるにもかかわらず交通手段や地域デビューの機会のない高齢者を地域社会へ参画させること等については不十分であり、まだまだ課題は多いため。
	どちらかといえは順調	51~75	○		
	どちらかといえは遅れている	26~50			
	遅れている	0~25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			高齢者の地域デビューをする機会が圧倒的に不足している。	
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			ふれあい施設等が各地域で設置が進んでおり地域の情勢も変化しているため、既存の施設との関連性も視野に入れて検討する必要がある。	
	その他コメント			外出支援サービス事業、老人クラブ活動・シルバー人材センターのあり方を検討する必要がある。	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあい施設について、各地区ごとに人口などの実状が異なるため要望把握に努め、未設置地区への設置を促進するべき。 ・家庭訪問員等の増員と事業の見直しを社会福祉協議会と協議し検討するべき。 ・老人クラブへの補助金については、補助金判定会議においても指摘をされているが、会員数による補助ではなく、実施事業に対する補助を行うなどの改善を行うべき。 ・シルバー人材センターについては、家庭訪問事業や送迎事業など生活支援サービスの担い手として総合事業への参入を視野に入れて事業拡大を図るべき。 ・外出支援サービス事業については、高齢健常者も含めた交通手段の確保について検討するべき。 	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・地域ふれあい施設のみに頼ることなく、既存の老人憩いの家や空き家を利活用した高齢者の居場所づくりを市が率先して進めるべき。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			無し	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・現在、子育て支援の観点から世代間交流が進められているが、高齢者の地域参加の観点からも部局を超えて事業を実施してはどうか。	
総合コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の今後の方向で述べた点を良く踏まえ事業を行うこと。 ・個別施策に対して個別事業の関連が不明確であるため、体系を見直すべき。 ・個別施策を達成するための対象事業が十分でない。 				